

令和2年3月15日
よみかせサークルおおきなき
おおきなきだより 37号



もう少しで今年度も終わり、という時に、突然の新型コロナウイルスの脅威。感染拡大予防ということで、思いがけず学校も休校ということになりました。

私たちが3月に予定していたよみかせをすることができず、急に子どもたちと会えなくなり、とても残念です。この急な変化に、不安に思っているお子さんがたくさんいると思います。また、学校に行けなくなって、毎日をどう過ごしたらいいのか困っているお子さんもいるのではないかと思います。こんな時こそ、絵本が楽しい気持ちにさせてくれるはず。

ぜひご家庭でよみかせをしてあげてくださいね！

また、新学期、みんなと元気に再会できますように！

新学期より、おおきなきと一緒に活動してくださる方、随時募集しています〜♥

お問い合わせは、 ookinaki2012@yahoo.co.jp まで

<おおきなき QRコード>

◆ 3学期「おひるのおはなし会」で よみかせした本◆

月に1回、火曜日の昼休みに第2音楽室で開催しているおひるのおはなし会(ひるよみ)。マッスルタイムがあるので忙しいにもかかわらず、子どもたちがたくさん参加してくれました。

(2月は全校朝読み、3月は中止でした)

☆1月21日(火)☆

『ワタナベさん』

作：北村 直子
(偕成社)

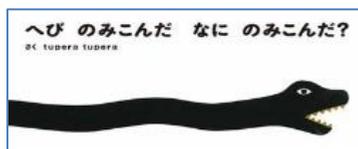


『まわるよる』

作：tupera tupera
(小学館)

『へびのみこんだ なにのみこんだ?』

作：tupera tupera
(えほんの社)



◆3学期 あさよみではこんな本を読みました◆

毎月1回、水曜日の朝読書の時間（8：20～8：35）に各クラスで読み聞かせをしています。3学期からは1年生にもあさよみが始まりました～。あさよみで読んだ本の一部をご紹介しますね。

< 1年生 >

<p>まあばあさんのゆきのひピクニック 作：すとう あさえ 絵：織茂 恭子 (岩崎書店)</p> 	<p>お誕生日なのに、雪でおばあちゃんが来られなくなったののちゃんのために、おとなりのまあばあさんが、ののちゃんを雪あそびのピクニックに連れて行ってくれることに！雪遊びのアイデアが満載。まあばあさんの笑顔に誘われて、イヌも、ののちゃんもにっこにこ。読んでみると、つついににっこ顔になる一冊です。</p>	<p>でんごんでーす 文：マック・バーネット 絵：ジーン・カーチ 訳：林 木林 (講談社)</p> 	<p>鳩のお母さん鳥が、赤い羽根のオウムの子に頼んだ伝言。電線の上の鳥から鳥へと伝言リレーが続くのですが、鳥たちが伝えていくうちに伝言はちんぷんかんぷんなことに！子どもたちが大好きな「伝言ゲーム」の楽しさが、そのまま絵本になっていて、読みきかせにもぴったりです。</p>
---	---	--	---

< 2年生 >

<p>はつてんじん 作：絵 川端 誠 (クローンハウス)</p> 	<p>新年、金坊とお父さんは連れ立ってお参りへ。途中の屋台店で金坊はおいしそうなものをねだりますが、お父さんは「あれは、どくだ。」とごまかします。しかしいよいよ根負けして凧を買うことになって…！?</p>	<p>ピッツァぼうや 作：ウィリアム・スタイグ 訳：木坂 涼 (らんか社)</p> 	<p>雨がふって、外にあそびにいけないピートはご機嫌ななめ。そんなピートをみて、おとうさんはあるアイデアを思いつきます。それがどんなに楽しかったかは、この表紙をみれば、一目瞭然！</p>
---	--	--	---

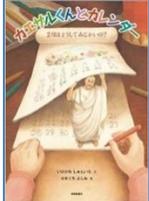
< 3年生 >

<p>たこやきのたこさぶろう 作：長谷川 義史 (小学館)</p> 	<p>旅に出ようとする、たこやきのたこさぶろう。止めるたこやき家族。そして、こんなものやあんなものまで止めに入るけれど、たこさぶろうには、どうしても旅に出なければならない事情があったのです。そのとき、たこやきのおやっさんが衝撃の告白を！リズムカルな文章と、ばかばかしいおもしろさがいっぱい楽しいたべもの絵本です。</p>	<p>はやくちことばで おでんもおんせん 文：川北 亮司 絵：飯野 和好 (くもん出版)</p> 	<p>おでんたちのやってくる、ひなびた温泉場で、つぎつぎくり出される「おでん早口ことば」たち。「おやくんぶ ここんぶ まごこんぶ ひまごこんぶ」「かたたたききにきたたまご」「このくしはひきぬきにくいくした」…みんなで声に出して楽しむ、とびきり愉快な早口ことば絵本です。</p>
--	--	---	--

< 4年生 >

<p>月とアポロと マーガレット 作：ティン・ビツ 絵：ルーシー・ナイズリー 訳：鳥飼 玖美子 (評論社)</p> 	<p>アポロ11号月着陸成功に尽力した女性プログラマーがいきました！ 幼い頃から、自分のやりたいことをあきらめず、何にでもチャレンジしたマーガレット・ハミルトンの半生をつづる絵本です。アポロ11号月着陸放送の同時通訳をつとめた鳥飼玖美子さんの翻訳でお届け！</p>	<p>でっかいでっかいモヤモヤ袋 作：ヴァージニア・アイアソイド 絵：フランシス・ジャース 訳：左近リバカ (そうえん社)</p> 	<p>ジェニーはいつもしあわせだった。ところが、ある日、モヤモヤしてきた。朝起きたら、モヤモヤ袋があった。それも、どんどん、でっかくなる。あー、でっかいでっかいモヤモヤ袋になっていく。モヤモヤ袋って、いったいなんだろう？子どもたちの日常の不安な気持ちをモヤモヤ袋で表現した、傑作絵本。</p>
--	--	--	--

< 5年生 >

<p>このよでいちばんはやいのは 作：カート・ゴーマン 絵：あべ弘士 訳：天野祐吉 (福音館書店)</p> 	<p>「このよでいちばんはやいのは」さて何でしょう？カメよりもウサギよりも、チータが速い。海にはチータよりも速い魚がいる、いやもっと速く飛ぶ鳥がいる。鳥より速い新幹線、と色々なものの速さを比べていきます。新幹線より、ジェット機、ジェット機よりゴーンと聞こえるお寺の鐘の音…。そして一番速いのは光？いえいえ、光より速いものがまだあります。意外な答えが絵本の中で待っています。</p>	<p>カエサルさんとカレンダー 作：いけがみしゅんいち 絵：せきぐちよしみ (福音館書店)</p> 	<p>皆さんは、日常的に使っているカレンダーの基本が、いつ頃、誰によって作られたのか、どのような理由でできたのか？ご存じですか？そこには、ローマ時代の皇帝のわがままや、エジプトの女との恋や、さまざまなドラマが隠されています。2月がどうして、短いのか。30日と31日の月があるのは、どうしてか？7月と8月だけ31日が並ぶのはどうしてか？明日からカレンダーを見る目が変わる絵本です。</p>
---	--	---	---

< 6年生 > 小学校最後のよみきかせ・・・本当は最後に読んであげたかった本！

<p>おおきな木 作・絵：シェル・シルヴァスタイン 訳：村上 春樹 (あすなろ書房)</p> 	<p>幼い男の子が成長し、老人になるまで、温かく見守り続ける1本の木。 木は自分の全てを彼に与えてしまいます。それでも木は幸せでした。 無償の愛が心にしみる村上春樹訳の世界的名作絵本です。</p>	<p>たくさんのドア 作：アリク・ザン 絵：ユ・テウン 訳：なかがわちひろ (主婦の友社)</p> 	<p>元気よく、どんどん歩いていく主人公。荒波を越え、空をも飛んでいきます。添えられている詩は、そんな人生のステージのドアを開けていく子どもを、信じ、見守る応援歌。これからどんな世界が待っているようにも、思い切ってやっであらんと！とエールを送る一冊です。</p>
--	--	--	---

◆全校児童向け朝のよみきかせを
行いました!◆

今年も読書週間の一環として、2月19日に
体育館でよみきかせを行いました。今思えば
3月に企画していたら、全校児童と体育館で
よみきかせなんてできませんでした。

なんとかできて幸せでした。

絵本は中国の民話「王さまと九人のきょうだい」。
絵本は前のスクリーンに大きく映し出します。
全校児童への読み聞かせなので、お話
に合う効果音を毎年工夫してつけています。
今年も、家庭から持ち出したザルと豆、ペット
ボトル、そして読み手の声などを使い、メン
バー総出での読み聞かせとなりました。1~6
年生児童みんなに楽しんでもらえるよう願っ
て作り上げました。

中国の民話

『王さまと九人のきょうだい』

君島久子 訳 赤羽末吉 絵 (岩波書店)



◆ちいさなき制作報告◆

読み聞かせで楽しんでもらえるようにと、今年
度は引き出し紙芝居「おばあさんとぶた」を制
作しました。絵の具で色をぬったり、組み立て
たりとみんなで楽しく作ることができました。
3月のひるよみで披露する予定でしたが②
いつかどこかで子供たちにみてもらいたいと思
います。

楽しみにまって
おくれよ~~~
ばあさんより



新しいコーナーが始まりました!
よみきかせのちょっとしたエピソード
を4コマ漫画でお届けします♥
お楽しみに~

本当にあったエピソードです。
本当に若小の子供たちは、
ピュアで可愛いんですよ~。



みなさま、1年間ありがとうございました~!